

全ての演舞を終えて、カチャーシーを踊る生徒たち＝4日、沖縄市民会館



第36回県高校総合文化祭(県高校文化連盟主催)の郷土芸能部門大会が4日、沖縄市民会館で開かれた。南風原、八重山の2校が2013年7月に長崎県で開催される全国高校総合文化祭への派遣が決まった。



南風原、八重山 全国へ 祭能郷土芸文

南風原高校郷土芸能部が披露したのは「御根引ちぬ御祝」。昔の結婚の儀式「ニービチ」を歌と踊りで鮮やかに表現した。

八重山高校郷土芸能部が披露したのは「今日が日は、黄金日は」。八重山諸島の黒島の伝統芸能で、島の祭りの雰囲気表現した。

南風原高校郷土芸能部の入福浜佑理さん(18)は「3年間は「夏休み前から作品を調べて、練習に取り組んできた。とてもうれしい」と笑顔で話した。八重山高校郷土芸能部の山下沙羅さん(18)は「3年間の思いがかなった。卒業して、来年の全国大会には行けないが、感謝の気持ちをお忘れず、観客に笑顔を与えてほしい」と喜んだ。2校に加え、八重山農林、八重山商工、向陽の計5校が優秀賞に輝いた。